

きずな

基本理念

「信頼」と「貢献」

患者様の権利を尊重し、理解と納得に基づいた思いやりのある医療を行い、愛され「信頼」される病院を目指します。

地域の方々の健康増進と生命を守るために、また中核病院として地域の医療水準の向上に「貢献」します。

基本方針

- 1 医の倫理に基づき、すべての方々に平等に人格、権利を尊重し、心のこもった医療を提供します。
- 2 常に自己研鑽に努め、高度で質の高い医療を提供します。
- 3 病院内の各部門が相互に協力・連携し、安全な医療を提供します。
- 4 他病院、他診療所等と連携を図り、地域の医療の貢献に努めます。
- 5 医療を通して地域の方々に安心と信頼を得られるよう努めます。

CONTENTS November 2010

02 外科

外科で行っている医療をご紹介します。

[シリーズ02]

04 病院のかかり方

06 入院生活の1日の流れ

リハビリテーション技術室

07 療育「癒し、育てること」

お知らせ

08 インフルエンザ予防ワクチン接種のご案内

(外) 科医師紹介

市立湖西病院 診療部長

鈴木 章男

日本外科学会専門医・日本大腸肛門病学会専門医・
日本消化器病学会専門医・日本消化器内視鏡学会専門医・
日本消化器外科学会認定医・健診マンモグラフィ読影医・
身体障害者福祉法指定医師

「一般外科、血管、乳腺、消化器の各外来があります。微力ながら地域の皆さんの健康維持に関われればと考えております。」

市立湖西病院 副院長

中島 昭人

日本外科学会専門医

「外科診療を通じて、地域医療に少しでも貢献できるよう日々努力してまいります。」

Vol.

6

外科

外科で行っている医療をご紹介します。

外科医師 **鈴木 章男**

消化器疾患

外科では消化器疾患、痔疾、乳腺疾患、血管疾患、怪我や熱傷などによる体表面の外傷などを対象として診断し、手術を含めた治療に携わっております。それぞれについていくつか代表的なものを紹介します。

主に胃や大腸における癌^{がん}、胆石、腸閉塞、各種ヘルニア、虫垂炎、腹膜炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の穿孔などに対し検査や診断を行い、手術的に治療しております。

胆石の手術については標準術式である腹腔鏡下胆嚢摘出術を第一選択に行っております。

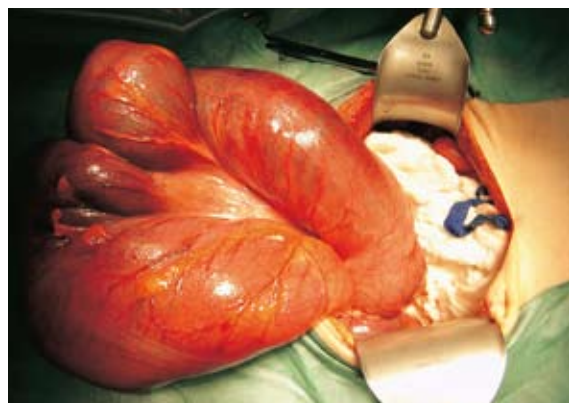
大腸疾患についての診断では大腸内視鏡検査を行っております。一般に大腸カメラは「苦しくて痛い」との印象がありますが、当科では軸保持短縮法という挿入法を用い、押して入れるのではなく大腸を短縮して挿入するという、大腸に優しい入れ方を実践しております。ポリプやポリープ内にできた早期の癌については大腸カメラで治療しておりますが、進行した癌については手術によって治療します。手術後は癌の進行程度に合せて内服若しくは点滴での抗癌剤による治療を行っております。

痔疾

肛門の病気としては一般的に内外痔核、痔瘻^{じろう}、肛門周囲膿瘍、裂肛などがあります。

痔核とは別名イボ痔と言われております。肛門の少し内側にできた内痔核は小さなものから、排便時やお腹に力が入った時、歩いている時に脱出するような状態のものまであります。最初は座薬や軟膏を使用して治療しますが、それではあまり良くならない場合については手術的に治療します。

脱出するような内痔核については従来手術を行ってきましたが、ここ数年は切除するのではなくジオン注という薬を



● 腸閉塞の手術

乳腺疾患

イボに直接注射する硬化療法で治療しております。イボ痔の切除は術後それなりに痛みがあり入院期間も約10日から14日間要し、完全に治癒するのに2〜3ヶ月かかりますが、ジオン注硬化療法は1泊入院で翌日肛門鏡で観察したあとと退院となります。痛みはなく、時に再発した場合でも3ヶ月間あけてもう一度注射を行います。この治療法は認定された施設でのみ許可されておりますが、当院はその認定施設になっております。

乳腺の病気には乳腺炎や、乳腺良性腫瘍、肉腫、悪性腫瘍などがあります。

乳腺悪性腫瘍については、基本的に乳房を取ってしまう乳房切除術と、乳房からしこりとその周囲の乳腺組織を切除する乳房温存術があります。従来はそのいずれの術式でも通常は腋の下のリンパ節を切除しておりました。ただ腋の下リンパ節を取ったからといって、そこに必ずしも転移したリンパ節があるというわけではなく、腋の下を手術したが転移が見つからなければリンパ節転移はなかったという以外に得るものがなく、結果的に治療法としての意味が無かったこととなります。実際最近では腋の下にリンパ節転移の無い早期の乳癌患



● 器械を使ってセンチネルリンパ節を診断しているところ



● センチネルリンパ節診断のための色素を注入しているところ

者さんが増えております。そのような患者さんは乳房温存手術を受けられることが多いのですが、その中で腋の下のリンパ節を摘出することが最もご本人にとって大変であり、また手術が終了した後で腕が腫れたり、感覚が鈍くなったたり、動かしづらくなったりといった合併症が多かれ少なかれ生じます。そこで手術前に腋の下のリンパ節に転移が無いことがあらかじめわかれば腋の下の手術を省くことができ、手術後の合併症もありません。そのような考えから生まれたやり方がセンチネルリンパ節生検という方法です。当院では平成21年後半からこの方法を手術に取り入れてきました。今年4月から正式に保険適応が認められております。センチネルリンパ節診断の方法としては放射性同位元素を用いる方法もありますが、当院では体に害のない色素を用いて、それから発生する光を特殊な器械で検出して診断しております。切除したリンパ節に転移がなければ前述したように腋の下に手術は行いません。乳癌手術を受けられる患者さんにとって大きな福音です。

血管疾患

血管は動脈と静脈からなっております。代表的な疾患としては、下肢静脈瘤、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、静脈や動脈の血栓症などがあります。下肢静脈瘤は下肢の表在の静脈の弁が壊れて瘤状になる病気で放置すると皮膚の色素沈着や皮膚潰瘍となり、ひどくなると血栓ができて、血栓が流れて肺の血管に及んだ場合には肺塞栓など命に関わることもあります。静脈瘤の治療は弾性ストッキング装着から開始しますが、病態の進行したものについては当院で手術を行っております。当院での静脈瘤の手術は全身麻酔若しくは腰椎麻酔で行い手術時間は約1～2時間程度で、入院期間は3日間です。

動脈疾患については最近の技術の進歩で従来の開腹による動脈瘤の手術のような観血的手術の治療に占める比率は少なくなり、血管内治療すなわちステントグラフト挿入による治療が増えて、より低侵襲な手術が一般的になってきております。

動脈疾患については浜松医科大学第2外科に紹介し治療していただいております。当院での血管外来は毎週火曜日と木曜日であり浜松医科大学より西山元啓先生と田中宏樹先生が来られて診療されます。

体表面の外傷及び熱傷処置

体表面の傷の治療も以前と比べると最近はかなり進歩してきております。従来は怪我にしろ火傷にしろ消毒剤で創面を消毒し抗生剤入りの軟膏を塗布しておりましたが、現在では化膿していないきれいな創や火傷については、水で洗い、ラップのような材質の医療材を用いて覆う密封療法になってきております。



● 手術中の風景

平成22年11月現在



総合受付

外来受診の流れ

持ち物◎保険証
(診察券・公費医療受給者証・
乳幼児受給者証・お薬手帳等
がある方はお持ちください。)

平日(月～金)の受付時間は 午前8時00分～午前11時30分です

初めて受診される方
(または3ヶ月以上受診されていない方)

総合受付へ

内科・耳鼻咽喉科へ受診の方は、問診票にご記入ください。
その他の科へ受診の方は、各科にて問診票に記入してください。

予約などで再び受診される方・
検査で受診される方

再診受付機へ

診察券を入れて受付票をお取りください

(前の受診日から月が変わった場合や保険証が変わった場合は、必ず保険証等をお持ちください。)

※診察券を忘れた、または紛失した場合は受付職員に申し付けください。

各科外来受付にて(初診・再診共通)

- 診察券と再診予約票(ある場合)を受付にお渡しください。
- 診察の方は、体温計と問診用紙が窓口にありますので、体温をはかり病状を記載してください。
(内科・耳鼻咽喉科以外)
- 検査で来院された方は、受付で「検査を受けられる方へ」のファイルをお渡しします。



◎診察の方

受付番号が案内表示板に表示されるまで外来待合でお待ちください。

診察開始時間は午前8時45分です

診察

診察券をお渡しますので、そのまま外来待合でお待ちください。
※薬の処方がある場合は、処方箋も一緒にお渡しします。

◎検査の方

「検査を受けられる方へ」のファイルをお持ちになって
検査を受ける科へ

検査

担当職員の指示に従ってください。

各科外来受付にて

診察券をお渡しますので、そのまま外来待合でお待ちください。
※検査後に診察のある方は、受付番号が表示されるまで待合でお待ちください。

会計へ

- 診察券を会計窓口に出して、お会計を済ませてください。
- お薬の処方がある場合は、会計隣の処方受付にて院外薬局を指定してください。封書をお渡しします。

院外薬局へ

お渡しした封書を指定薬局に提出し、お薬の料金をお支払いください。

感染症外来

- 下記の症状が疑われる方は、受診前にお電話をください。☎053-576-1231
[インフルエンザ(鳥・新型等)、水痘症(みずぼうそう)、結核、麻疹(はしか)、
腸管出血性大腸菌感染症、海外渡航歴のある方の発熱(サース)、下痢]
- 院内に入る前にインターホンにてお知らせください。
午前8時15分～午後5時00分 病院正面玄関前/夜間・休日 救急外来入口

文書受付

- 診断書、証明書等の作成を申し込みされたい方は、総合受付までお越しください。
申込からお渡しまで
- ①申請申込書をご記入ください。
- ②担当職員より文書預かり書をお渡しいたします。
- ③文書作成後、担当職員より金額、受取り方法等をご連絡します。
- ④文書預かり書を持参のうえ、総合受付までお越しください。
- ⑤代金お支払いの後、文書をお渡しいたします。

救急受診の流れ

平日午前11時30分～・夜間・土曜日・日曜日・祝日

持ち物◎保険証
(診察券・公費医療受給者証・
乳幼児受給者証・お薬手帳等
がある方はお持ちください。)

お電話して下さい ☎053-576-1231

- 名前
- 生年月日
- 症状
- 住所 (どこからみえる?)

平日午前11時30分～午後5時00分
総合受付にお越し下さい

左記以外の時間帯は
救急受付にお越し下さい



「先ほど電話した〇〇です」と伝えて下さい。受付手続きを行います。

**救急外来では、当直医師が診察しますので、
専門医が診察するとは限りません。**

※診察後、他医療機関での受診が必要な場合は、ご紹介させていただきます。



※患者様の症状によって順番を入れ替えたり、緊急の処置などで診察までに時間がかかる場合があります。

診察

診察後、時間帯によって待合い場所が変わりますので、看護師が案内します。

会計へ

- 平日の午後5時00分以降及び土・日・祝日は救急受付にて会計します。
- お薬の処方がある場合は、時間帯によって処方先が院外院内に分かれます。(職員から説明があります)

院外処方 (院外の薬局にて処方します。)

(平日) 午前11時30分～午後5時00分 (土・日・祝) 午前8時15分～午後5時00分

※上記時間帯以外は院内処方となります。

1～2日分の限られた内容の処方しかできませんので、必要場合は、後日再受診していただきます。

救急受診をされる方へのお願い

緊急性のない軽症患者の受診が増えると、本当に救急医療を必要とする重症な患者に適切な対応ができなくなります。

地域医療を守るため、ご協力をお願いします。

入院生活の1日の流れをご紹介します。

入院された日に、担当看護師が入院中の生活についてご説明します。

わからないことや心配なことは、いつでも声をおかけください。

入院中は、患者さま一人ひとりの状況に応じて、入院診療計画や看護計画をもとに、

安全に安心して入院生活が送れるよう、病院スタッフ全員でこころがけています。





療育 「癒し、育てること」

◎療育チームの紹介

みやもと たけし
宮本 健 小児科医師

療育チーム機能

金子みすずという詩人をご存知でしょうか？20世紀のはじめ頃、「すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」と詠ったこの詩人は26歳の若さで世を去りました。それから1世紀以上が経ちましたが、社会はこの言葉を受け止められるだけ成長したでしょうか？

子どもはみんなそれぞれ素晴らしい才能を持つてこの世に生まれてきます。その才能はひとりとして同じではありません。ひとと違うことは、そのこと自体が素晴らしいことのはずです。それなのに現在、発育バランスが多くの子と少し違うというだけで子どもたちが深く傷つき（傷つけられ）、うなだれて行くことが決して珍しくありません。「療育」とは「癒し、育てること」。心と身体の特徴を正確に知り、それを認め、育てることが初めて、子どもは「世界に二つだけの花」を咲かせることができるのです。医療としての「療育チーム」の必要性は、ここにあります。

言語聴覚士の役割

からさわ ひでき
柄澤 秀毅



言葉の遅れの原因には様々なものがありますが、原因を特定できないものもあります。言語聴覚士は言葉の遅れや発音に問題を抱えている子供さんに対して、検査・評価や指導・訓練などを行います。まずは検査で子供さんの言葉の発達がどのくらいであるのかを把握します。そして、その子供さんに合った訓練内容や方針を決定してから訓練を行っていきます。

臨床心理士の役割

こばやし ひでつぐ
小林 秀次



発達に乱れや凸凹のあるご本人やその家族に対して発達相談（困っているこ

とや悩んでいることはもちろん、生活や勉強、進学や進路などの生涯発達についてを行っています。

理学療法士の役割

理学療法士は運動発達の遅れのある子供さんに対して、関節の動きをよくする治療や筋のコントロールを改善する治療などを通じ、運動の学習を支援していきます。



流行する前に予防接種を！ インフルエンザ予防ワクチン接種のご案内

今年も「インフルエンザ」の季節となりました。

10月4日から**予約制**による**インフルエンザ予防ワクチン接種**を始めました。来年3月31日まで実施しております。(ただし、祝日及び12月29日から翌年1月4日までは実施していません。)

予約・接種は健診センターにて承ります。

お電話**(576-1232)**でもご予約できます。月曜日から金曜日の午後1時00分から午後4時45分までの間にお電話してください。

小児(中学生以下)

●実施日時

水曜日 午後3時00分～

●接種回数

- 中学生 1回接種
- 小学生以下 2回接種

●接種料金

- 1回目…3,600円
- 2回目…2,550円(当院で1回目を接種した場合)

●その他

卵アレルギーのあるお子様にはアレルギー検査をしていた
だくことがあります。検査費用として310円をご負担して
いただきます。

大人

●実施日時

- 月曜日～金曜日 午前10時00分～
- 火曜日 午後2時00分～

●接種回数

1回接種

●接種料金

- 湖西市に住民登録のある65歳以上の方…1,000円
- 65歳未満の方…3,600円

※ただし、湖西市に住民登録のある60歳以上65歳未満
の心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全
ウイルスによる免疫機能に障害のある方で、厚生労働省
令で定める方は1,000円となります。

**外出後はうがいや手洗いをこころがけ、
感染予防に努めましょう**

- 熱発(37.5℃以上)など体調が優れないときはワクチン接種ができませんので問診前にお申し出ください。
- 医師の診察後ワクチン接種を見合わせた場合、診察料として1,790円をご負担していただきます。

診察券のデザインを変更しました!

変更をご希望される方は、総合受付までお申し出ください。なお、従来の診察券も使用可能です。

表



裏

